

ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西
自然保護機構
会誌

33巻1号(通算61号)

シンポジウム コウノトリの野生復帰を語る



2011年6月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

コウノトリの野生復帰：46年ぶりの復活

写真・文 大迫 義人

2007年5月20日、この日は、兵庫県豊岡市で開始されたコウノトリの野生復帰計画において記念すべき日となった（豊岡市は、この日を「生き物共生の日」と制定している）。2年前から放鳥されてきたコウノトリが野外で雛を孵したのである。1971年に日本の空から姿を消した日本産コウノトリの、最後の孵化から43年ぶりの出来事であった。その後、3個あった卵のうち無事に育ったのは1羽となったが、7月31日、この雛は力強く豊岡の大空に羽ばたいていった。1961年の日本で最後の巣立ちから46年ぶりの復活となった。

国と兵庫県・豊岡市は、一度、絶滅したコウノトリを保護・復活させるために、半世紀もの時間を費やしてきた。遡ること1955年に官民一体のコウノトリ保護協賛会を立ち上げ、1965年から飼育下繁殖を試み、1992年から10年以上かけてこの野生復帰計画を練ってきた。その努力の結晶が、この1羽の幼鳥であった（表紙の雛）。

コウノトリの存続可能な個体群が確立するまで、さらに半世紀以上の時間がかかるであろう。我々は、なくしてから自然を復活させる、その前に野生下での保全に取りかかることを肝に銘じておくべきであろう。

写真：2007年6月28日撮影（豊岡）

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。